

第2回こころの健康に関する疫学調査（コホート研究） にご協力いただいた方へ

平成29年5月

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野では、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻、順天堂大学医学部公衆衛生学講座と協力して、ストレスとこころの健康との関連性の個人差の理由をより正確に明らかにし、こころの健康問題の効果的な予防法を求めため、遺伝子の解析研究を取り入れ、ストレス、遺伝子の状況、心身の健康状態との関連を調べる研究を行っています。

【研究題目】

「世界精神保健日本調査コホート研究（ストレスと健康追跡調査）」 審査番号：G10075-(1)

【研究機関名および研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と責任者は下に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

研究責任者 教授 川上憲人

面接調査、遺伝多型の測定と分析を統括します。このための唾液サンプルは、東京大学で集め、どこの誰の試料かわからないようにした符号を付けた試料を提供し、遺伝子の解析を行います。解析データは、東京大学に戻されます。

【共同研究機関】

以下の共同研究機関に対しては、誰の試料かわからないようにした（匿名（とくめい）化された）データを提供し、統計的な分析を行います。

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻 中根秀之 教授

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科衛生学・予防医学分野 土居弘幸 教授

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 立森久照 室長

【研究期間】

2015年10月19日 ～ 2023年10月18日

【研究目的】

本調査は、地域に生活する人々のストレスとこころの健康との関連性に遺伝子がどのような影響を与えているかを明らかにすることを目的としています。私たちの研究グループが2002年から2006年にかけて行った「第1回こころの健康についての疫学調査」、同じく2013-2014年に行った「ストレスと健康全国調査」に回答いただいた方に、再度第1回の調査と同じ方法・内容で、その後のストレスや心の健康をうかがいます。また唾液中の白血球細胞由来の遺伝子を調べます。このことにより、どの遺伝子の配列の個人差が、ストレスと心の健康との関係の個人差をどの程度説明するかを明らかにします。

【対象となる方】

1) 2002年から2006年に行った「第1回こころの健康についての疫学調査」および2013-2014年に行った「ストレスと健康全国調査」の回答者の方にご案内状をお送りしています。

【研究の意義】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野では、ストレスとところの健康との関連性の個人差の理由をより正確に明らかにし、ところの健康問題の効果的な予防法を求めるため、遺伝子の解析研究を取り入れ、ストレス、遺伝子の状況、心身の健康状態との関連を調べる研究を行っています。研究の進展により、ストレスから健康を守る方法が開発され、有益な情報がもたらされる可能性があります。

【研究の目的】

本調査は、地域に生活する人々のストレスとところの健康との関連性に遺伝子がどのような影響を与えているかを明らかにすることを目的としています。私たちの研究グループが2002年から2006年にかけて行った「第1回ところの健康についての疫学調査」、同じく2013-2014年に行った「ストレスと健康全国調査」に回答いただいた方に、再度第1回の調査と同じ方法・内容で、その後のストレスや心の健康をうかがいます。また唾液中の白血球細胞由来の遺伝子を調べます。このことにより、どの遺伝子の配列の個人差が、ストレスと心の健康との関係の個人差をどの程度説明するかを明らかにします。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

2) ご希望の日時に、委託先調査会社である一般社団法人新情報センターの調査員がご自宅にうかがい、調査についてご説明しました。本調査にご協力いただける場合には、調査員がコンピューターを用いた面接調査を行いました。回答にかかる時間は、最長60分程度でした。

3) 所定の唾液採集キットを使っていただき、唾液を2ml採取いただきます。採取した唾液は直接、東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野に郵送してもらいました。

4) 調査にご協力いただいた方には、3,000円分のクオカードを差し上げました。

5) この調査で得られたデータは、個人が特定されないように通し番号がつけられたうえで、東京大学で統計解析が行われます。また共同研究機関にも個人が特定されないように通し番号がつけられたデータがCD-ROMに入れて郵送され、統計的な解析が行われます。

6) 本研究の研究期間は、調査に参加いただく時点から測定や解析が完全に完了するまで5年間を予定しています。同意いただける場合にはデータを長期に保管し、新しい分析方法が見つかった場合に追加の解析をさせていただきます。あなたの唾液中の白血球細胞由来などの試料は、本研究のためにだけ使い、心の健康に関連する可能性のあるさまざまな遺伝子のパターンを分析すると同時に、ゲノムワイド解析という方法で網羅的に関連遺伝子を検索することに使用させていただきます。研究終了後、これらのサンプルは責任を持って廃棄します。

7) 遺伝子型に正常値というものは現在のところありませんので、一人一人の結果についてはお知らせできませんのでご理解ください。本遺伝子解析研究の結果があなたに即座に有益な情報をもたらす可能性は現在のところ低いと考えられますが、長期的には研究の進展により、仕事のストレスから健康を守る方法が開発され、有益な情報がもたらされる可能性があります。

【個人情報の保護】

遺伝子の研究結果は、他の関係する人に漏れないように、取扱いを慎重に行う必要があります。あなたの面接調査結果や唾液は、分析する前に住所、氏名などの個人情報がつかないデータに変換され、代わりに新しく符号をつけ、どこの誰の試料かが分からないようにした上で、東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野において個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

あなたの協力によって得られた研究の成果は、ご本人の氏名などが明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で発表させていただきたいと思っております。この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事務局まで2017年5月29日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場

合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら研究事務局へお尋ねください。

【研究費と利益相反について】

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野の川上憲人の科学研究費 基盤研究 (A) (一般) から支出されています。

研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

【研究から生じる知的財産権の帰属】

遺伝子解析研究の結果として特許権などが生じる可能性があります、その権利は国、研究機関、民間企業を含む共同研究機関および研究遂行者などに属し、あなたはこの特許権などを持っているということできません。また、その特許権などをもととして経済的利益が生じる可能性があります、あなたはこれについても権利はありません。

【費用負担に関する事項】

ここで行われる遺伝子解析に必要な費用は、当然のことではありますが、あなたに負担を求めることはありません。

【謝金について】

この研究にご参加いただける場合、謝礼として3,000円のクオカードを差し上げています。

【問い合わせ先】

○お問い合わせは下記までお願い致します。

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 教授 川上憲人

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

TEL: 03-5841-3521 FAX: 03-5841-3392

メールでのお問い合わせ : kawakami@m.u-tokyo.ac.jp

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、研究課題名と審査番号をお知らせください。